



ツール・ド・ミラベル 21with 長崎松浦 「100人のプレミアムディナー」開催

福岡事務所では、まつら観光物産協会と連携して、福岡市を中心に活躍するフレンチ・イタリアンのシェフ集団「NPO法人博多ミラベル21」と市内生産者・観光関係者との「食の産地観光交流」を進めています。

11月13日には、福岡市中央区のラ・ロシェル福岡（フレンチ）と同博多区のザッコ・アルポルト（イタリアン）で同時開催された「100人のプレミアムディナー」において、ハーブ鯖、車海老、本まぐろ、長崎和牛、長崎赤カブなど、松浦市が誇る海の幸・山の幸とのコラボレーションが実現しました。当日は、福岡市内外から100人を超える方々にご参加いただき、各店において、一流シェフによる、自由で、美しく、華麗な松浦ディナーを堪能していただきました。

なお、2月26日には、本年度の「食の産地観光交流」の集大成として、松浦市内での開催を予定しています。



▲旬の松浦食材を使用したフレンチ&イタリアンディナー

問合せ先

松浦市福岡事務所
☎ 092-406-2180

✉ matsura.f@city.matsura.lg.jp



松浦市の創業者たち

No.6



いす ガーデンCafe 柞の木



創業：平成 29 年 4 月 1 日
業種：飲食業
所在地：松浦市志佐町庄野免 1066
営業時間：9：00～20：00
(店休日 火曜日、水曜日)
電話番号：0956-37-8415
<http://cafe-isunoki.nagasaki.jp/>
f @cafeisunoki

◆◆こんなお店です◆◆

明けましておめでとうございます。昨年4月にオープンした当店も、無事新年を迎えられたことに感謝しています。「柞（いす）の木」では、モーニングセット（9時～11時）やスペシャルティコーヒー、地産地消にこだわったメニューを提供しています。夕方以降は予約も承っており、女子会などにご利用いただいている他、定休日の火・水曜日には、事前に連絡をいただければ教室や会議などに場所を提供しています。暖かい薪ストーブもありますので、コーヒーを飲みながら、ゆっくりとした時間をお過ごしにご来店ください。

◆◆創業者から一言◆◆

私が若いころは松浦にも喫茶店が多くありましたが、どんどん少なくなり「みんなで集まれる場所が無い」と感じたため、帰郷し自ら創業しました。また、親子連れのお客さまも来店されるので、子どもに「いい思い出」を作ってもらい、少しでも松浦に残ってもらえるようになれば、それが地域のためになると考えています。



▲創業者の松永良二さん（左）と妻の京子さん（右）

松浦市では、商工会議所・商工会・金融機関と連携して「自分らしい創業」を支援しています。自分ができることから始めてみませんか！
また、Uターン者の就職支援も行っています。お気軽にご相談ください。

問合せ先 商工振興課 商工振興係 ☎内線 243



国際活動 in まつうら ♪

「HELLO!ALT」コーナーがリニューアルします。
新コーナーでは、マッカイ市のニュース、ALTからのメッセージ、国際親善協会からのお知らせなど、松浦市の国際活動に関する情報をお届けします。

今月は、国際教育・活動支援員が、市の国際活動の情報を紹介します。

● GOOD LUCK!

HAPPY NEW YEAR!!!
(あけましておめでとうございます)

最初の情報は「オーストラリア・デー」イベントです。1月28日(日)午前10時から正午まで、きらきら21のホールで開催します。オーストラリアをもっと知るためのゲームやクラフトなどがあります。松浦市国際親善協会の提供でオーストラリアのお土産(個数限定)もありますので、ぜひ参加してみてください。入場は無料です。

次の情報です。昨年9月に行われた「松浦・マッカイビル・モロイ杯 Englishスピーチコンテスト」



暗唱部門の優勝者、椎山美奈子さん(鷹島中学校3年)が2月3日(土)大村市で開催される平成29年度長崎県中学生英語暗唱大会に出場することになりました。椎山さん頑張って下さい。

ちなみに、「頑張って」は英語でなんと言うでしょう?よく聞く答えは「ファイト」ですが、実は場面によって「頑張って」という英語の使い方が変わります。外国では大会の前は「good(グッド) luck(ラック)」と言うことが多いと思います。

松浦のみなさん、今年も勉強、仕事、スポーツ、芸術など、あらゆるものにチャレンジして下さい。
GOOD LUCK!



図書館の おすすめ

BOOK 本

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日も開館しています。(年末年始、臨時休館を除く)



『森林官が語る山の不思議 飛驒の山小屋から』

加藤博二/著 河出書房新社

飛驒の山を仕事場に生きた筆者が見聞きした、人間の喜びや哀しみ、自然の驚異。今では目にすることのできない日本人の暮らしを、郷愁のこもった文体で綴る十七篇。近代化で世の中が複雑になる少し前の日本の姿を垣間見ることができます。
※昭和23年初出の再刊



『とうふやのかんこちゃん』

吉田道子/文 小林 系/絵
福音館書店

とうふやをひらくために、きれいな水のわく山のふもとにひっこしてきたかんこ一家。とうふ作りになやむとうさんの力になりたいと、お店のせんでんのためにとうふの絵をかくかんこ。その絵を目にして店さきにあらわれたのは…

図書館のなぞ⑧ 「特設(とくせつ)コーナー」の本は借りられるの??

【昨年の特設コーナーのようす】

図書館に入って右手にある「特設コーナー」には、きれいに本がならんでいます。(もちろん借りられます。)

季節にそった話題や、記念日、時事などから一つのテーマを決めて、そのテーマに合う本を集めています。

ふだんは見えない棚や行かないコーナーの本があるかもしれません。まだ見ぬ本との“出会いの場”となれば幸いです。

テーマは毎月変わります。図書館に立ち寄ったときは、ぜひこのコーナーもながめてみてくださいね。

《ポイント》

1. 特設コーナーの本も借りられます。
2. これまで関心のなかった本との“出会い”があるかもしれません。



◀ 8月【はち】
8月の「はち」の音から連想されるものをいろいろ集めてみました。



◀ 11月【ロシア!】
2017年は日本とモスクワが空路でつながって50年となる記念の年でした。